

研究

次 目

大 正 三 年

に 於 け る

文 科 關 於 學 術 進 步 大 勢

(第一回學術談話會總會報告)

一 其

二 其

に

「自分のしてゐる事が自分の目的になつて居ない程苦しいことはない」と云ひます。

「目的でなくとも方便になれば好いぢやないか」と私が云ひます。

「それは結構である。ある目的があればこそ、方便が定められるのだから」と答へます。

この深みのある會話が、一年を回顧する私の心の中に今更のやうに憶ひ出されます。併し私は「自分のしてゐる事が目的になつて居ない」と自ら明に覺り、又「自分のしてゐる事が方便になつて居る」と知つて居れば少しも苦しいことはないと思ひます。ある目的があればこそ、方便が定められて居て、自分のしてゐる事が方便になつて目的になる筈であるのが、目的になつて居るか、方便になつて居るか一向分らぬ間から、目的を創造し方便を建設し、これに向つて努力して進むところに、眞の苦痛があるかと存じます。また眞の苦痛であればある程、眞の樂しみもあると存じます。この意味に於て私どもは率直に快活に一年の間楽しく働きましたとをよろこび且つ

感謝いたします。

文科會の目的は規程及び内規に明示してあります。併しながら方便としての談話會と會誌とは更にこの規程の廣汎なる深遠なる解釋を許すものとなることは自然の理であり、また勢であると存じます。如何なる解答をなしうるかは今後會員全体の興味ある問題であると存じます。

私どもはこの會誌の編輯を終るに當りて切に明敏なる熱誠なる後繼者によりて、本會の使命が眞に體得せられ創造的建設的なる工夫の工夫に依りてあります。本會の榮えんことを希望してやまないであります。(ひつじ)

會 告

會費拂込に就きて

今般本會は會員諸君の御便宜を計り振替貯金口座を利用致候事に相定め候就ては今後本會々費は該口座へ御拂込相願度此段通申上候

東京 東京女子高等師範學校

喜多見 さき

來年度會費御拂込に就きて

別紙振替用紙封入致置候間便宜御拂込被下度願上候